



第3学年国語科

単元名 物語のお気に入りを通して

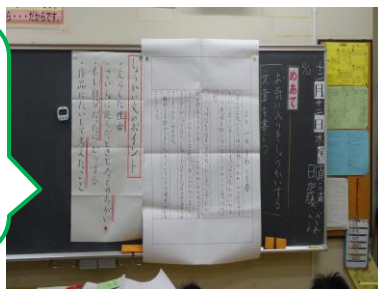
【単元において育成を目指す資質・能力】

- 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う力
- 登場人物の気持ちや場面の移り変わりを捉え、具体的に想像し、表現する力
- 物語に親しみ、友達に紹介するために音読を工夫したり、話の内容を付け加えたりして読書しようとする力

【導入】前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。

書く視点をはっきりさせる

- ・選んだ理由
- ・最初に読んだ時と今との違い
- ・もし自分だったらどうする
- ・作品に対して自分が考えたこと



課題設定の工夫

お気に入りを紹介するという最終目標を設定することで、意欲をもたせる。

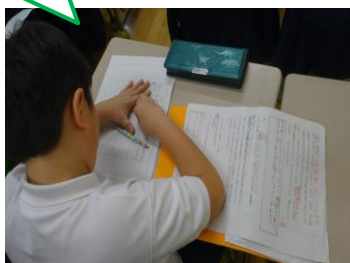
めあて

お気に入りをしようかいする文を書こう。

【展開】お気に入り紹介文を書く。

自分一人で文を書いてみよう。

自分の考えを表現するための工夫



書く視点に沿って紹介文が書けているか確かめながら進めていこう。



書き終わった児童はオープンスペースに移動し、友達と交流していく。友達の文を参考にしたり、書くのに苦労している場合も交流し、紹介文が書けるようにしていく。

自分の考えをもつための工夫

【終末】本時の振り返りをする。



友達と紹介を聞いた後、感想や意見などを言って交流することで、参考になるところを取り入れ、読みを深めていく。

○成果と●課題

- 完成形の文章モデルを示したことで、書くイメージをもって作文ができていた。
- 友達と交流をすることの良さが出た。
 - 1、友達から感想をもらうことで、自信をもつことができた。
 - 2、書く内容に困っている児童がアドバイスをもらい、作文を完成させることができた。
 - 3、友達の紹介文の良いところを自分の文章に取り入れ、さらにわかりやすい文にできた。
- 振り返りの視点を毎時間示すことで、ねらいに沿った振り返りにすることができた。
- 単元のゴールとなる作品を本時に示した。最終イメージがわからないまま学習に入ってしまった。ゴールイメージをもたせるためにも、単元の導入時に作品提示した方がよかった。
- 教科書の内容を根拠にすると意見や理由の説明に説得力が出るので、交流の場面では、教科書も活用すると良かった。

